

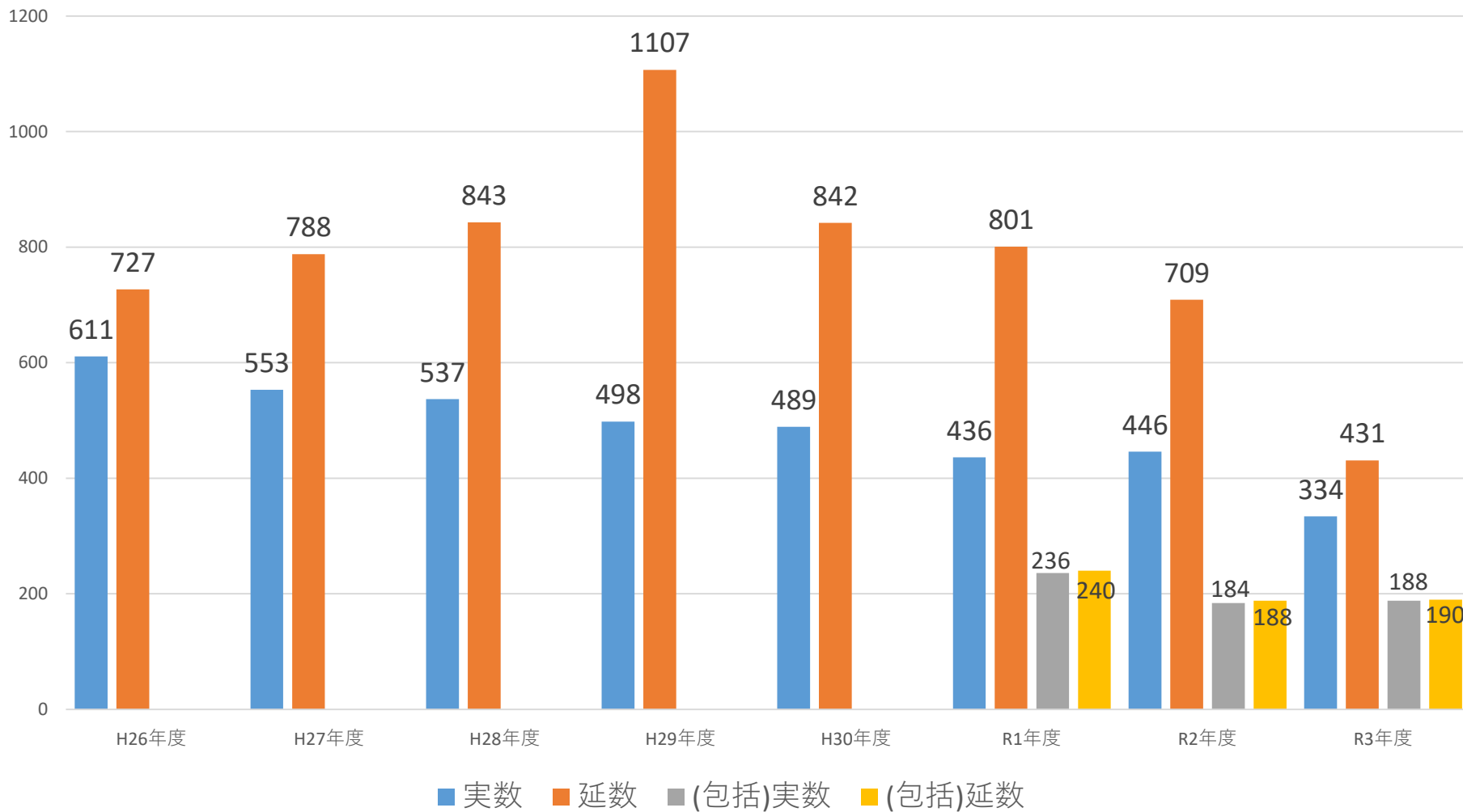
柏地域医療連携センター 相談状況

【令和 3 年4月～令和 4 年3月】

地域医療推進課

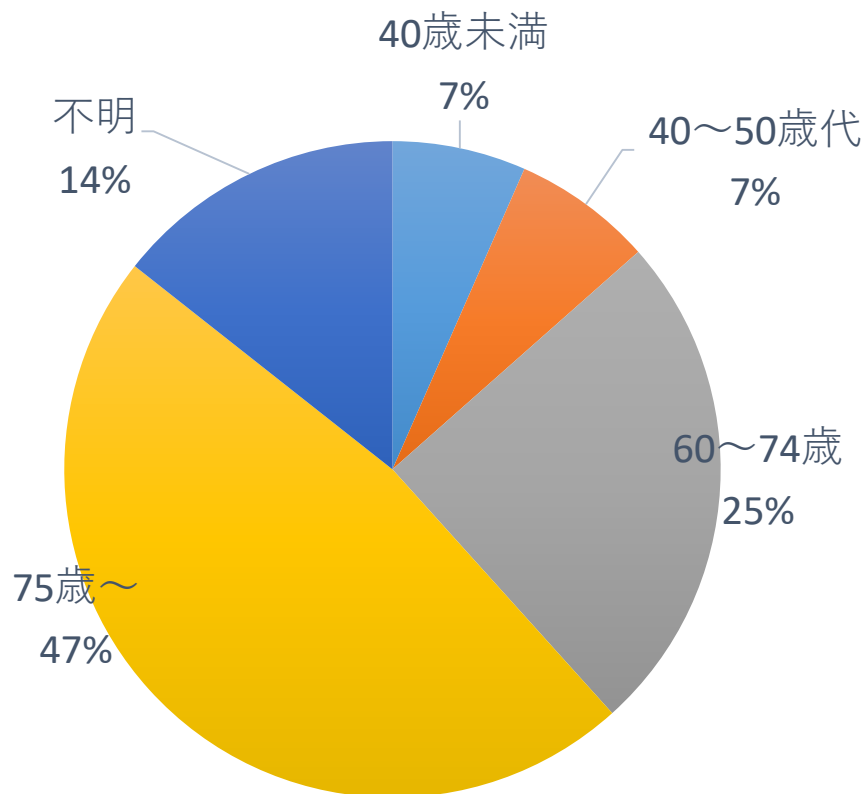
1 - ①【相談全体】 相談件数

(件)



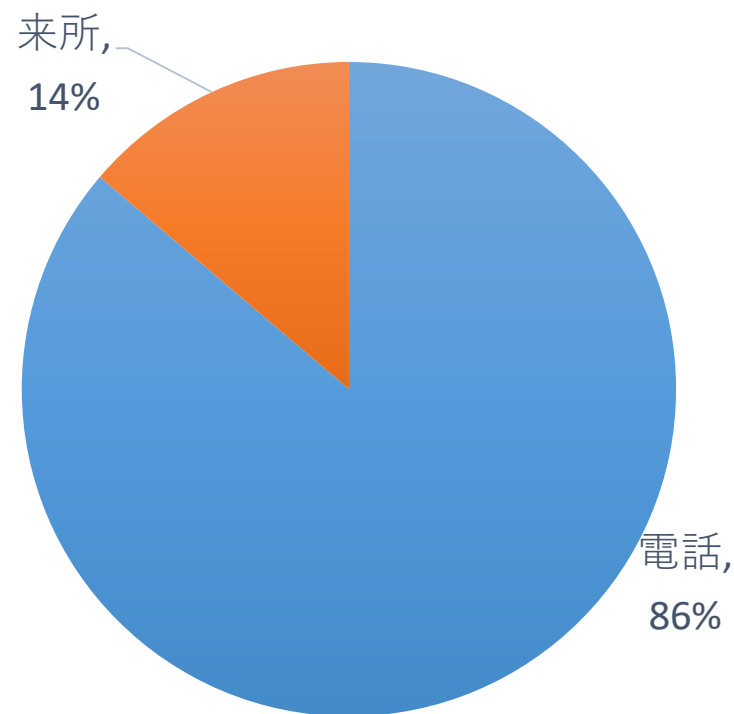
○R3年度の相談件数は、実数、延数ともに減少傾向がみられている。

《年齢構成》



N = 334

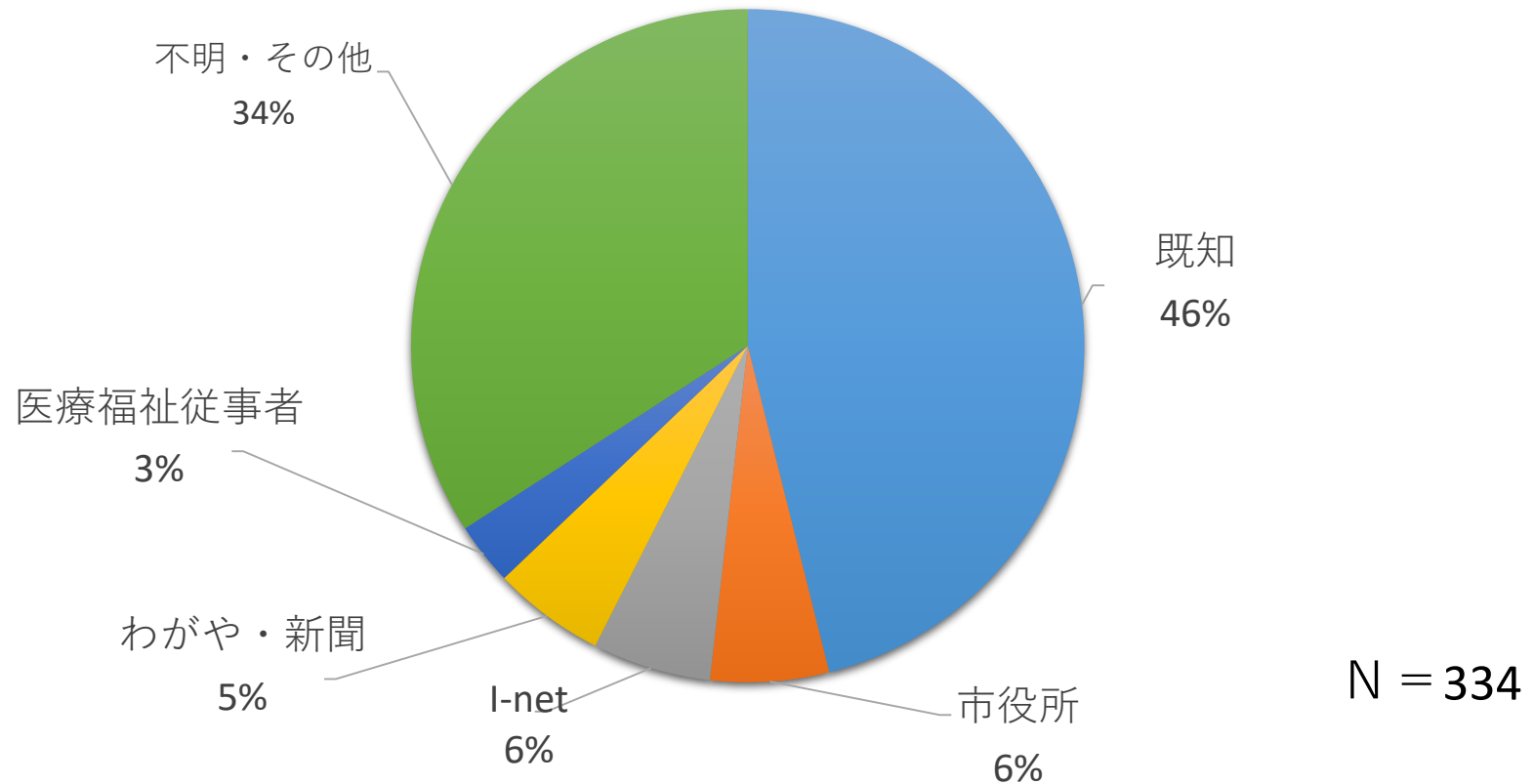
《相談形態》



N = 334

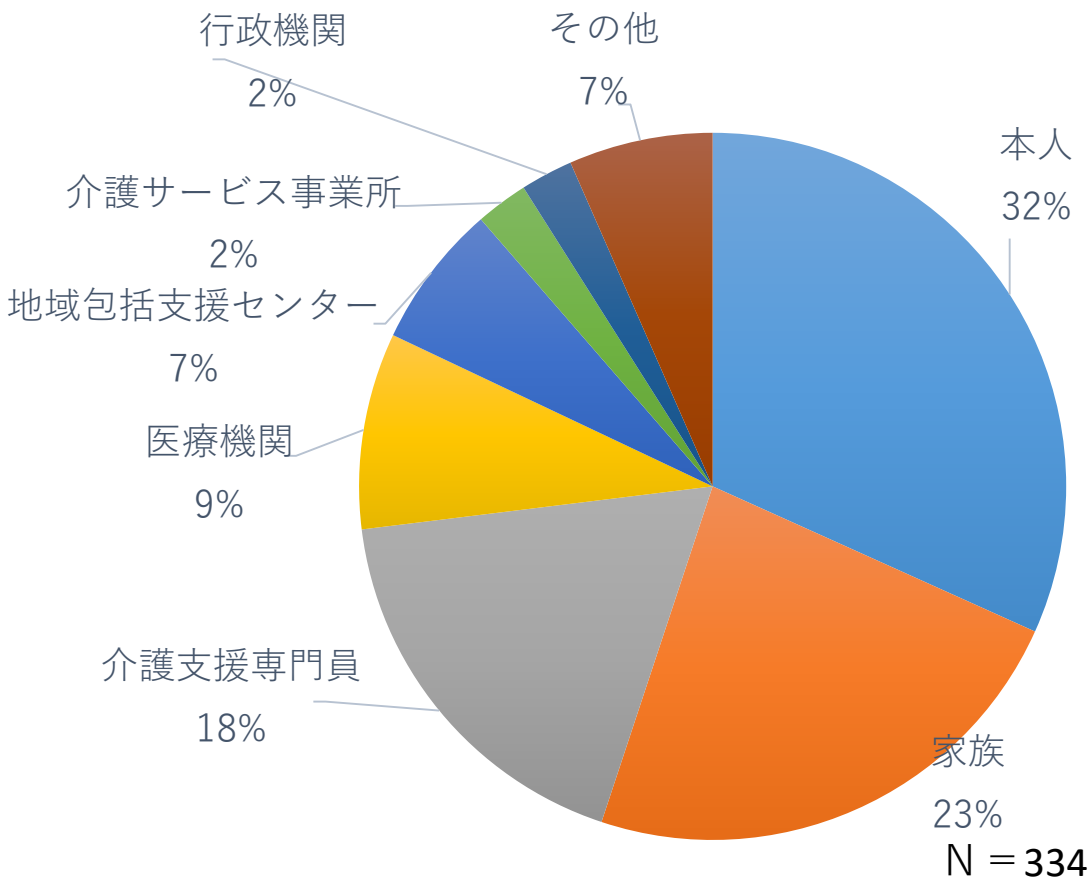
○相談対象者は60歳以上が約 7 割を占めている。
○相談形態は、電話が約 9 割を占めている。

《連携センターの情報入手経路》

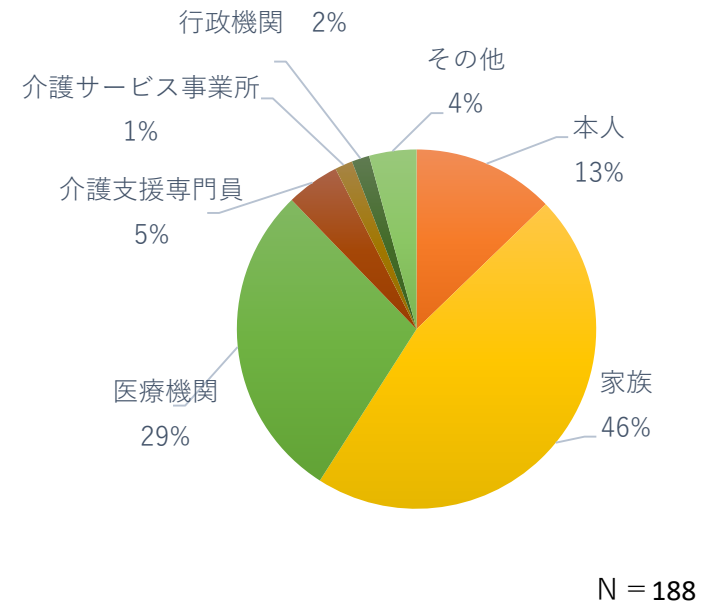


○既に相談窓口として認識されている方からの相談が、半数近くを占めている。

《相談者との関係》



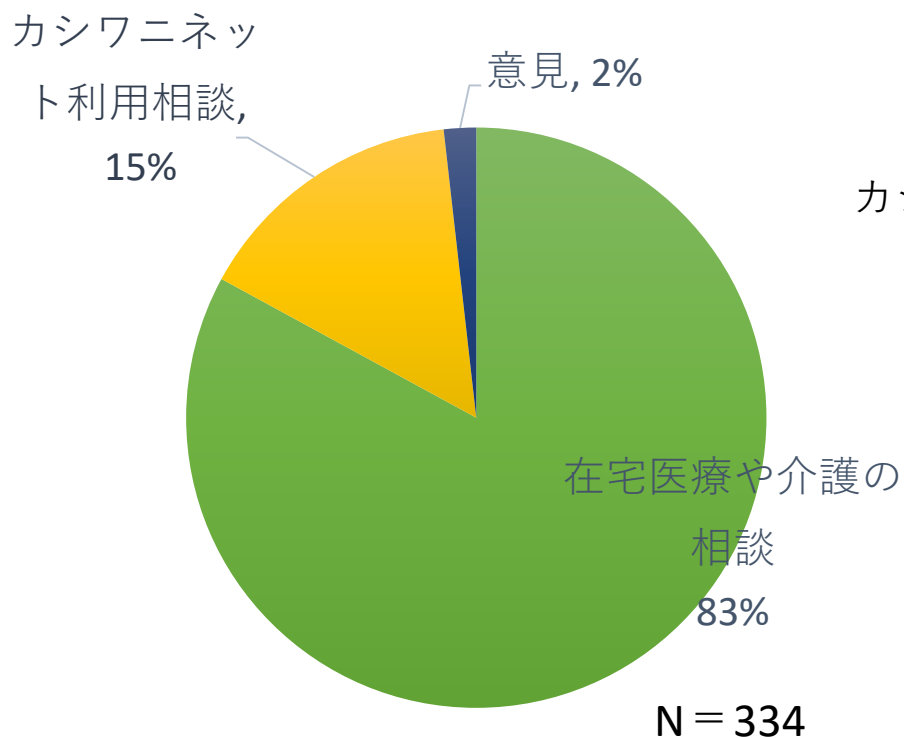
(参考；地域包括支援センター)



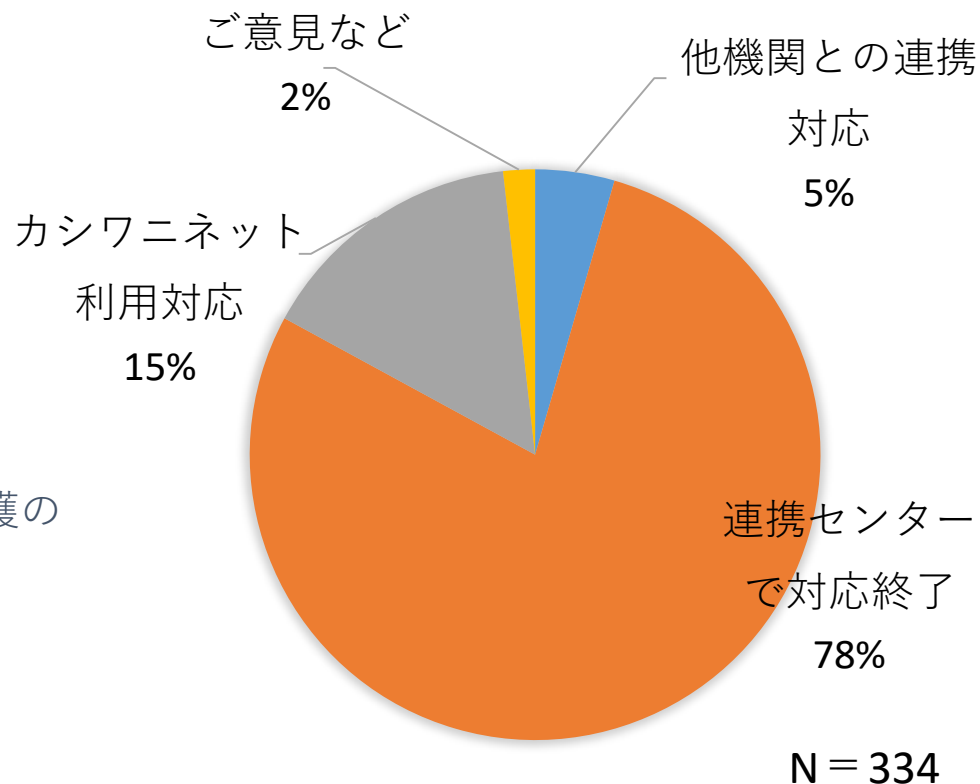
○本人・家族からの相談が約半数を占めている。
○多職種からの相談は、介護支援専門員、医療機関、地域包括支援センターの順となっている。

1－⑤【相談全体】 相談内容および対応内訳

《相談内容》



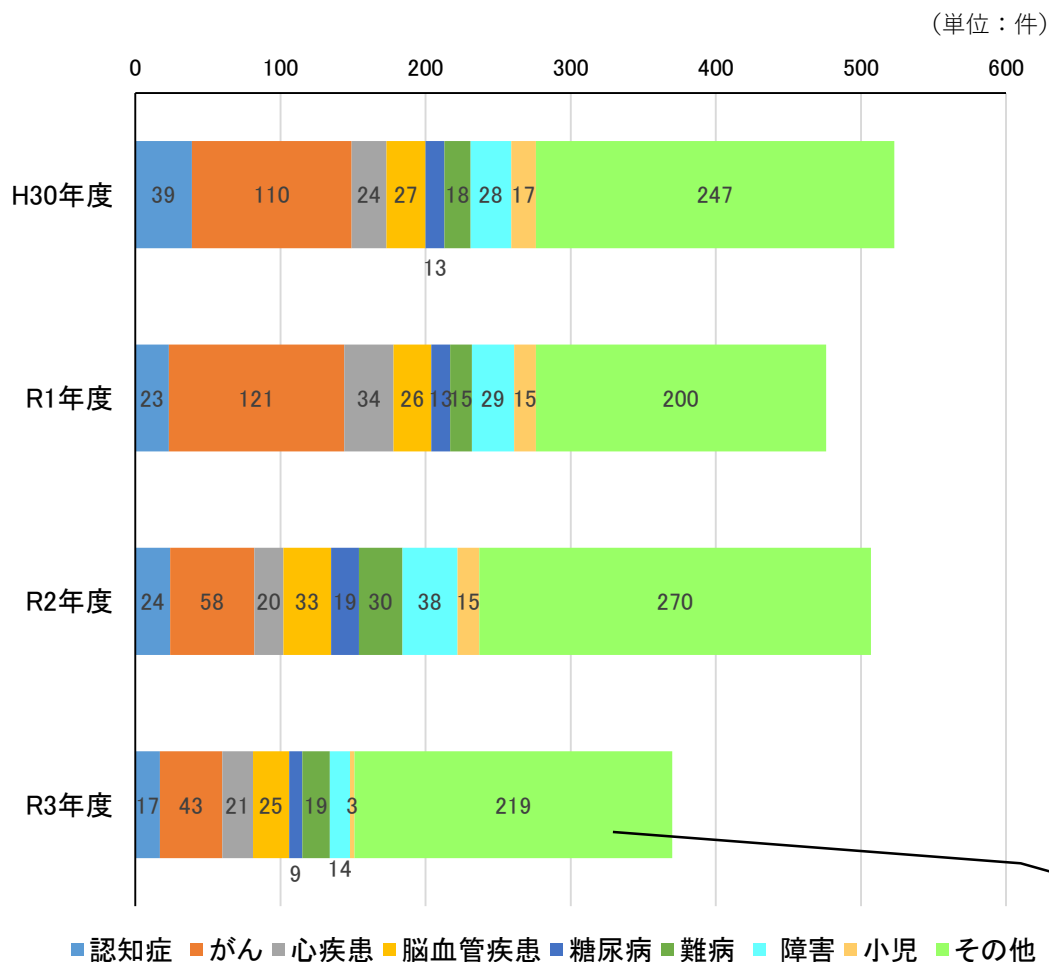
《対応内訳》



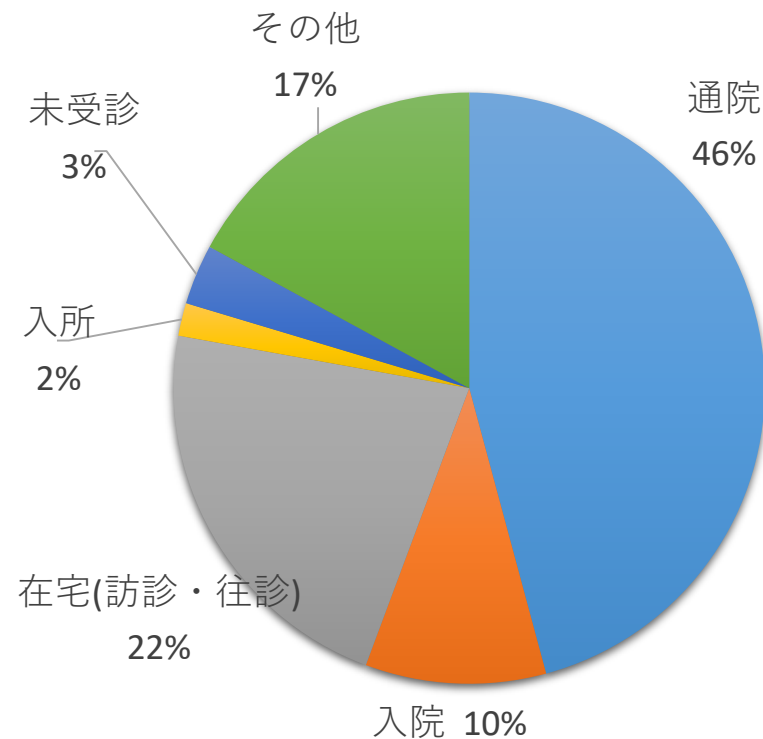
- 相談の内容は「在宅医療や介護」が、約8割を占めている。
- 対応の約8割が連携センターの相談で終了している。
- 他機関との連携対応における連携先は、主に地域包括支援センターとなっている。

1－⑥【相談全体】 相談対象者の疾患および受療状況

《疾患割合》



《受療状況》



その他の主な疾患は、内科系疾患，整形外科系疾患，精神科系疾患などだった。

○相談対象者の疾患は「がん」が最も多いが，他の疾患についての相談割合が増えている。

○相談対象者は入院入所を含め，8割がなんらかの治療を受けていた。

**目的：連携センターの総合窓口における相談技術の向上及び
相談機能の体制強化を図る。**

1. 課内レビュー

相談内容の情報共有・相談員のスキルアップと標準化

- ・ 全相談件数の報告・共有・対応検討

2. 医師レビュー

専門的助言により相談の質の担保・相談員の人材育成

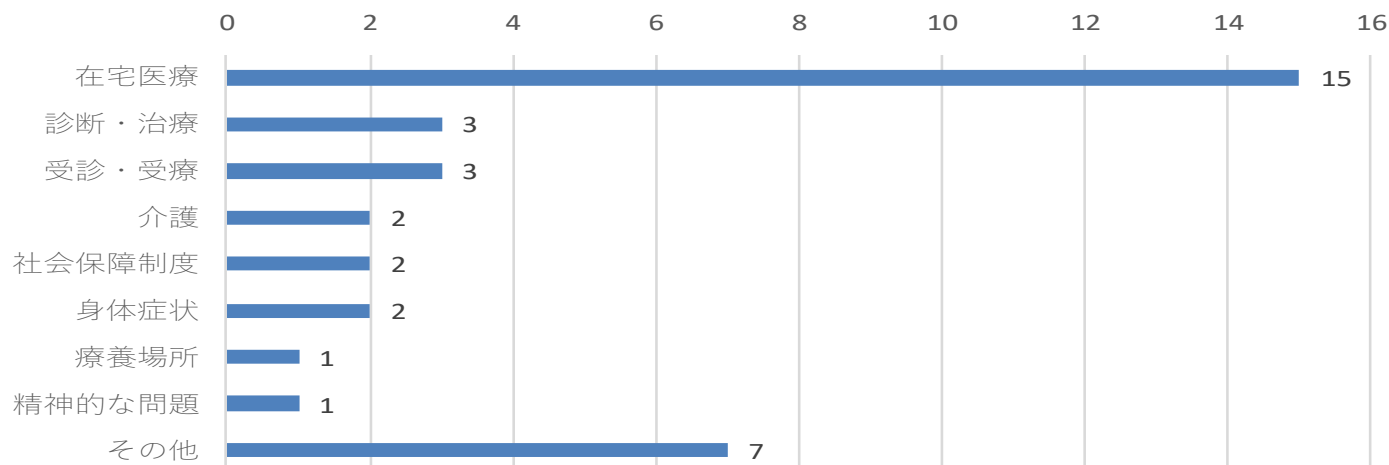
- ・ 柏市医師会（在宅・プライマリケア委員会）推薦医師を柏市の非常勤特別職員として委嘱
- ・ 「在宅医療と介護の相談」の中から助言を求めるものを相談（全体の約1割程度）

3. 柏市医師会「在宅・プライマリケア委員会」報告・共有

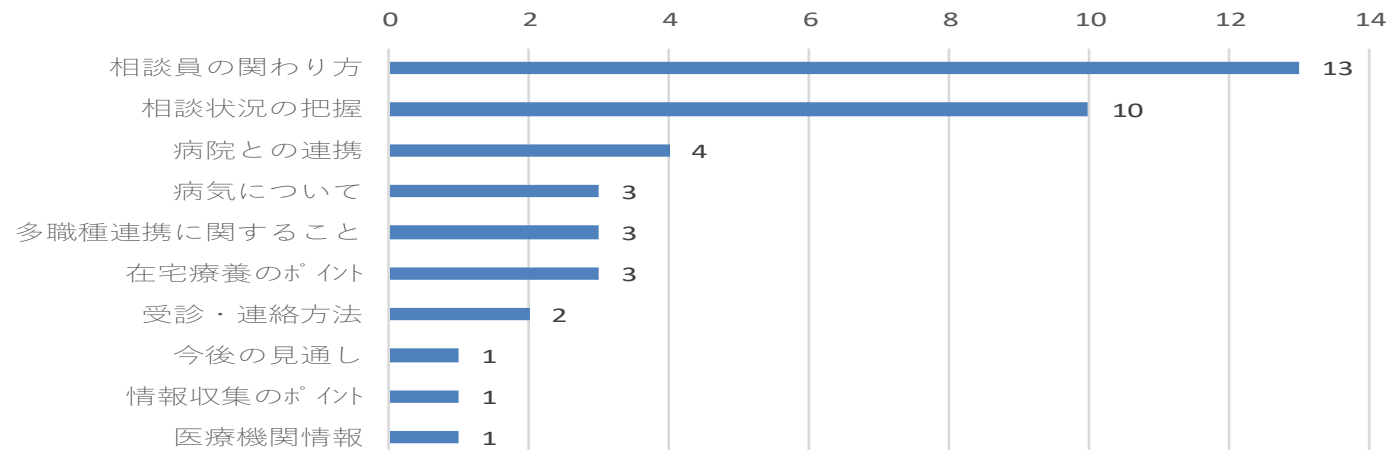
- ・ 毎月の相談状況と医師レビューの結果報告

2-②【相談レビュー】医師レビュー相談および助言内容

相談内容（重複あり）



助言内容分類（重複あり）



○連携センターに入っている相談内容や状況について共有するとともに、相談員の関わり方を中心に助言を受け、相談対応に活かしている。

3 今後に向けて

○ 市民が気軽に相談できる窓口としての機能の維持向上

医師レビュー等を通して相談技術の向上に努め，市民等からの相談に対し，必要な支援や制度および地域包括支援センター等の関係機関に繋げていくことができる。

○ 医療・介護関係者への相談対応および連携支援の継続

地域包括支援センター，医療機関および職能団体との調整（後方支援機能の役割）を通して，多職種連携が円滑に行われるよう支援していく。